



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月12日

上場会社名 マーチャント・バンカーズ株式会社

上場取引所 東

コード番号 3121 URL <http://www.mbkworld.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 古川 令治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼財務経理部長 (氏名) 宮毛 忠相

TEL 03-3502-4910

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	2,356	△15.3	19	—	42	—	44	22.6
25年3月期第3四半期	2,781	2.1	△25	—	△32	—	36	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 81百万円 (32.2%) 25年3月期第3四半期 61百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	2.02	—
25年3月期第3四半期	1.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	5,561	2,933	52.3	131.12
25年3月期	6,102	2,899	47.1	129.46

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 2,911百万円 25年3月期 2,874百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,920	4.2	31	—	44	—	28	75.0	1.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	22,615,056 株	25年3月期	22,615,056 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	413,101 株	25年3月期	413,101 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	22,201,955 株	25年3月期3Q	22,202,127 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において、入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、提出日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間（以下「当第3四半期」）の我が国経済は、円安や金融市況の回復を背景として、緩やかな回復基調にありました。先行きについても、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されております。

当社の主要な事業領域についてみると、国内外の金融・不動産市場及び国内のホテル・レジャー市場は、デフレから脱却し堅調に推移しております。

このような経済状況のもと、当第3四半期の当社グループは、営業投資資産の売却活動、ホテル等の事業所の採算向上、並びに食品製造機械の生産・受注活動などに注力してまいりました。

当第3四半期の当社グループの収入は、前連結会計年度における店舗撤退の影響から減収となり、売上高2,356百万円（前年同期比15.3%減）となりました。

一方、利益水準については、太陽光発電設備の売却益、不採算店舗撤退の効果、並びに円安による為替差益の発生等により、営業利益19百万円（前年同期は営業損失25百万円）、経常利益42百万円（前年同期は経常損失32百万円）、四半期純利益44百万円（前年同期比22.6%増）となり、黒字を確保いたしました。

また、当社は、第1四半期より株式会社アドメックを新たに持分法適用関連会社とし、第2四半期より合同会社マーチャント・ソーラー2号を連結の範囲としております。

報告セグメントごとの業績は、次の通りであります。

(マーチャント・バンキング事業)

当社グループは、当事業部門におきまして、主に日本及び中国の企業及び不動産向けの投資事業並びに太陽光発電関連事業を営んでおります。

当第3四半期期間においては、群馬県利根郡みなかみ町に建設中の太陽光発電所及び稼働中のテストプラントを売却し、211百万円の収入、33百万円の売却益を計上いたしました。このほか、経常的な不動産賃貸収入や所有不動産の売却などから、売上高636百万円（前年同期比14.0%増）、セグメント利益99百万円（前年同期比19.8%増）となりました。

(オペレーション事業)

当社グループは、当社及び連結子会社である株式会社ホテルシステム二十一において、宿泊施設の運営、ボウリング場の運営、給食業務の受託などを行っております。

当第3四半期は、前期に行った店舗撤退の影響により売上高1,446百万円（前年同期比28.7%減）と減収になり、セグメント利益19百万円（前年同期比64.3%減）となりました。

なお、当第3四半期末日後の平成26年1月11日付で、インターネットカフェ店舗「スペースクリエイト自遊空間大塚店」（東京都）を事業譲り受けにより取得し、新たに営業を開始しております。

(マニュファクチュアリング事業)

当社グループは、連結子会社である旭工業株式会社において、食品製造機械の製造、販売を行っております。

当第3四半期は、11月に受注額154百万円の大口受注の検収が完了したことにより、売上高272百万円（前年同期比40.7%増）、セグメント利益12百万円（前年同期はセグメント損失33百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資 産)

当第3四半期連結会計期間末における資産残高は5,561百万円で、前連結会計年度末に比べ540百万円減少しております。現金及び預金の減少514百万円、有形固定資産の増加109百万円が主な変動要因であります。

(負 債)

当第3四半期連結会計期間末における負債残高は2,627百万円で、前連結会計年度末に比べ574百万円減少しております。短期借入金の減少526百万円が主な変動要因であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産残高は2,933百万円で、前連結会計年度末に比べ34百万円増加しております。四半期純利益44百万円、剰余金の配当44百万円、その他有価証券評価差額金の増加36百万円が主な変動要因であります。この結果、自己資本比率は52.3%（前連結会計年度末は47.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績の状況並びに今後の見通しから、当初予想（平成25年5月14日公表）を修正しております。詳細につきましては、本日付別途公表の当社「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,006,081	1,491,731
受取手形及び売掛金	172,556	125,801
営業投資有価証券	405,475	405,103
販売用不動産	281,668	153,502
商品及び製品	3,692	3,829
仕掛品	13,897	70,281
原材料及び貯蔵品	19,716	27,117
その他	73,373	64,554
貸倒引当金	△590	△615
流動資産合計	2,975,870	2,341,308
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,030,360	1,115,247
土地	1,378,735	1,406,858
その他(純額)	131,299	108,621
減損損失累計額	△214,552	△195,602
有形固定資産合計	2,325,842	2,435,124
無形固定資産		
のれん	393,173	354,794
その他	1,471	1,279
無形固定資産合計	394,645	356,074
投資その他の資産		
投資有価証券	78,778	107,993
敷金及び保証金	160,566	155,445
その他	169,235	167,488
貸倒引当金	△2,933	△1,920
投資その他の資産合計	405,647	429,007
固定資産合計	3,126,135	3,220,205
資産合計	6,102,005	5,561,513

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	110,167	98,023
短期借入金	1,310,893	784,154
1年内償還予定の社債	—	600,000
1年内返済予定の長期借入金	80,492	60,288
未払費用	128,423	111,628
賞与引当金	5,094	2,750
その他	186,565	164,977
流動負債合計	1,821,636	1,821,821
固定負債		
社債	600,000	—
長期借入金	554,512	584,682
長期預り敷金保証金	123,280	120,182
退職給付引当金	33,100	33,100
役員退職慰労引当金	10,600	10,600
その他	59,527	57,433
固定負債合計	1,381,019	805,998
負債合計	3,202,655	2,627,820
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,765,732	2,765,732
資本剰余金	20,849	20,849
利益剰余金	234,303	234,791
自己株式	△83,280	△83,280
株主資本合計	2,937,605	2,938,093
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△63,064	△26,936
為替換算調整勘定	△325	27
その他の包括利益累計額合計	△63,389	△26,909
新株予約権	25,133	22,509
純資産合計	2,899,350	2,933,693
負債純資産合計	6,102,005	5,561,513

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	2,781,997	2,356,125
売上原価	1,153,920	1,180,363
売上総利益	1,628,077	1,175,762
販売費及び一般管理費	1,654,061	1,156,168
営業利益又は営業損失(△)	△25,984	19,594
営業外収益		
受取利息	1,893	22,545
為替差益	7,078	41,710
その他	5,109	4,149
営業外収益合計	14,081	68,404
営業外費用		
支払利息	9,852	20,715
社債利息	10,900	10,900
持分法による投資損失	—	13,913
その他	212	—
営業外費用合計	20,965	45,529
経常利益又は経常損失(△)	△32,868	42,469
特別利益		
事業譲渡益	101,302	—
新株予約権戻入益	6,605	2,908
関係会社株式売却益	—	3,254
関係会社清算益	—	12,203
保険差益	—	5,171
その他	18,826	158
特別利益合計	126,733	23,695
特別損失		
事業整理損	8,693	—
事業譲渡損	29,714	—
関係会社株式評価損	—	1,590
その他	1,057	455
特別損失合計	39,465	2,045
税金等調整前四半期純利益	54,399	64,119
法人税、住民税及び事業税	19,433	18,126
法人税等調整額	△1,658	1,100
法人税等合計	17,775	19,227
少数株主損益調整前四半期純利益	36,624	44,891
四半期純利益	36,624	44,891

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	36,624	44,891
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,911	36,127
為替換算調整勘定	—	352
その他の包括利益合計	24,911	36,480
四半期包括利益	61,536	81,371
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	61,536	81,371

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計 (千円)	調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	マーチャント・バンキング事業	オペレーション事業	マニファクチュアリング事業			
売上高						
外部顧客への売上高	558,686	2,029,336	193,975	2,781,997	—	2,781,997
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—	—
計	558,686	2,029,336	193,975	2,781,997	—	2,781,997
セグメント利益又は損失(△)	82,841	54,527	△33,955	103,412	△129,397	△25,984

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△129,397千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費によりなっております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計 (千円)	調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	マーチャント・バンキング事業	オペレーション事業	マニファクチュアリング事業			
売上高						
外部顧客への売上高	636,994	1,446,196	272,934	2,356,125	—	2,356,125
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—	—
計	636,994	1,446,196	272,934	2,356,125	—	2,356,125
セグメント利益	99,261	19,486	12,767	131,515	△111,921	19,594

(注) 1. セグメント利益の調整額△111,921千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費によりなっております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。